

各団体の循環器病対策の取組について

各団体の循環器病対策の主な取組内容

① 予防・正しい知識の普及啓発

大分県看護協会

げんき教室(11回)、町なかの保健室
(延1,509人)

大分県リハビリテーション専門職団体協議会

健康フェスタ、体力測定・運動指導

日本脳卒中協会大分県支部

脳卒中市民公開講座、啓発動画

② 健診の普及・予防

大分県薬剤師会

簡易型心電計で心房細動測定(約2,400件)

全国健康保険協会大分県支部

特定保健指導、重症化予防、受診勧奨

③ 救急医療体制の整備

大分市消防局

12誘導心電図伝送、119番通報啓発

大分大学附属病院 心血管外科

「Join」を使った病院間連携

④ 切れ目のない医療提供体制

大分県看護協会

資質向上のための研修(年間80研修)

大分県医療ソーシャルワーカー協会

ACP大分講座、心不全緩和ケア

大分県訪問看護ステーション協議会

心不全ノート活用、研修周知

大分大学医学部循環器内科・臨床検査診断学

講座(大分県心不全包括ケアカンファレンス)

ハートノート導入、多職種Webセミナー

⑤ リハビリテーション

大分県リハビリテーション専門職団体協議会

専門職研修、地域ケア会議派遣、個別助言

⑥ 後遺症・両立支援

高次脳機能障害友の会「おおいた」

相互支援、家族会・当事者会、情報提供

⑦ 社会連携・地域包括ケア

大分県栄養士会

栄養ケア・ステーション充実、栄養・食に関する相談支援

大分県地域包括支援センター・総合相談・

在宅介護支援センター協議会

予防教室・健康教室、フレイル確認

大分大学医学部脳神経外科学講座

(大分県脳卒中对策推進委員会および
日本脳卒中学会)

2025年度モデル事業で対策加速

各団体の循環器病対策の取組について

団体名	取組内容	循環器病対策推進計画該当項目	該当施策 (ページ番号)
高次脳機能障害友の会「おおいた」 西田 さよ子 委員	県内外の高次脳機能障害に悩む方々の困りごとを伺ったり、集いや交流の機会や場を設け、情報交換を通し共感し合いながら、障害への理解を深め、学び合いながら、自立に向け、成長していけるようにと相互支援を行っています。 当事者へのより深い理解と適切な支援に繋がるよう、家族として支援者への情報提供、情報共有を行いながら、チームとして役割分担しながら支援していただけるよう働きかけています。 障がいのあるなしに関わらず、意思疎通の苦手な当事者と支援者の相互の思いのずれを確認しながら、相互理解に繋がるよう情報提供に努めています。 ～「健康第一」を合言葉に～ 具体的には、以下の活動を実施しています。 ①家族会の定例会、当事者会の開催や研修等への参加 ②当事者、家族、支援者からの電話相談や面談 ③ホームページなどで高次脳機能障害の症状・特徴および県内における相談 支援に関する情報提供 ④会報やラインを通して、会員への高次脳機能障害や健康推進に関する情報提供や予防啓発の実施	2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実 (5) 循環器病の後遺症を有する方に対する支援、治療と仕事の両立支援 ②高次脳機能障がい者への支援	P30
大分市消防局 田北 憲太郎 委員	○12誘導心電図伝送システムの搭載と活用 ・救急車に12誘導心電図を搭載し、急性心筋梗塞などの心疾患に対して、早期発見、必要な事前の準備、治療開始までの時間短縮に役立っています。 ○救急車の適時・適正利用の促進 ・市民へ救急車の適時・適正利用を呼びかけ、広報や救命講習を通じ、症状に応じ119番通報の周知を行っています。	2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実 (2) 救急搬送、救急医療体制の整備 ①迅速かつ適切に搬送可能な体制構築	P16
大分県薬剤師会 菅田 哲治 委員	2022年より、簡易型心電計（30秒手を添えるだけで心房細動の可能性を測定）を用いて、県民に対する脳卒中予防啓発ならびに、受診、健診勧奨を、薬局、健康イベント等にて行っています。これまで薬局、イベント等において、それぞれ、約1,300件、約1,100件測定しています。	2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実 (1) 健診の普及・予防の取組推進	P13
大分県看護協会 副田 明美 委員	○県民の健康づくり活動 ・「げんき教室」開催 大分県看護協会で中・高齢者等一般を対象に11回開催、参加者延292人 ・「大分県看護協会町なかの保健室」開催 大分県立図書館や各種イベント会場で「1日町なかの保健室」コーナーを年間7回開催：内容は血圧、血管年齢、健康相談等を実施 参加者：延1,509人 ・健康寿命延伸に向けた取り組み チラシを作成し会員、げんき教室等の県民への配布 ○看護師の資質向上のための研修（年間80研修） 臨床実践能力向上のための心不全の治療と看護研修、外来における在宅療養支援能力向上のための研修、在宅における服薬管理研修など実施	1 循環器病予防・正しい知識の普及啓発 ①生活習慣や社会環境の改善 2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実 (3) 急性期から慢性期までの切れ目のない医療提供の構築 ②在宅医療の推進	P8 P19
大分県栄養士会 緒方 雅子 委員	○生活習慣病の発症予防及び重症化対策 高度な専門性を発揮するための栄養士のスキルアップ研修の実施（生涯学習・各種研修会の実施） ○栄養ケア・ステーションの充実 ・自治体（役所）との連携（県民健康増進課、高齢者福祉課：介護予防教室） ・健康保健組合・民間企業・医療機関への紹介（研修会講師、健診後の食事、居宅療養管理指導） ・個人宅の訪問（栄養・食に関する相談） ・地域密着型の拠点として対象者に対して管理栄養士が様々なサービスを提供する。	2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実 (7) 社会連携に基づく循環器病対策、循環器病患者支援 ⑥栄養士による栄養管理	P35

各団体の循環器病対策の取組について

団体名	取組内容	循環器病対策推進計画該当項目	該当施策 (ページ番号)
大分県医療ソーシャルワーカー協会 楠元 緑 委員	協会の理事がACP大分の各圏域での講座や心不全緩和ケアセミナーのファシリテーターを引き受けたり、協会員に循環器病に関わる各種研修の受講を促したりしている。	2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実 (3) 急性期から慢性期までの切れ目のない医療提供の構築 ②在宅医療の推進 (6)循環器病の緩和ケア	P19 P30
大分県リハビリテーション専門職団体協議会 竹村 仁 委員	○専門職への研修 PT・OT・ST各協会で個別研修を実施するとともに、協議会として市町村の地域ケア会議アドバイザー等を対象に、循環器病予防や生活習慣改善に関する質の高い助言ができるよう、継続的な研修を行っている。 ○地域住民への啓発活動 各協会が「健康フェスタ」などのイベントを定期開催し、体力測定や運動指導を通じて県民の運動習慣定着や生活習慣改善を促進。幅広い県民の健康意識を高め、循環器病をはじめとする疾病予防に繋げている。 ○地域での実質的支援 介護予防事業や地域ケア会議に専門職を派遣し、高齢者の生活課題に対して再発予防や生活機能維持のための専門的助言を個別に実施。地域生活の継続と質の向上に寄与している。	1 循環器病予防・正しい知識の普及啓発 ①生活習慣や社会環境の改善 2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実 (4) リハビリテーション等の取組 (7) 社会連携に基づく循環器病対策、循環器病患者支援 ①地域包括ケアシステムの構築推進	P8 P27 P31
大分県訪問看護ステーション協議会 安部 美保 委員	心不全ノートの活用、研修会への案内・周知	2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充 (3) 急性期から慢性期までの切れ目のない医療提供の構築 ②在宅医療の推進 ③循環器病に対する医療の質の向上、均てん化等	P19 P22
大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会 雨宮 洋子 委員	地域包括支援センターには保健師または看護師、主任ケアマネージャー、社会福祉士の三職種が配置されている。各々の職種が地域の高齢者を支えている。 保健師や看護師は毎月予防教室や健康教室を開催し、フレイルや身体状況の確認を行っている。	1 循環器病予防・正しい知識の普及啓発 ①生活習慣や社会環境の改善 2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実 (7) 社会連携に基づく循環器病対策、循環器病患者支援 ①地域包括ケアシステムの構築推進	P8 P31
日本脳卒中協会大分県支部 湧川 佳幸 委員	脳卒中市民公開講座の定期開催、日本脳卒中協会啓発委員会 啓発動画および啓発資料の作成（厚生労働省 循環器病に関する普及啓発事業）と情報発信	1 循環器病予防・正しい知識の普及啓発 ①生活習慣や社会環境の改善	P8
大分大学医学部脳神経外科講座 (大分県脳卒中対策推進委員会および日本脳卒中学会) 藤木 稔 委員	大分県脳卒中対策推進委員会委員長および日本脳卒中学会大分県支部支部長として2025年度採択モデル事業によりさらなる本領域の取り組みを加速化しています。	1. 循環器病予防・正しい知識の普及啓発 2. 保健、医療及び福祉に係るサービス提供体制の充実 (1) 健診の普及・予防の取組推進 (2) 救急搬送、救急医療体制の整備 (3) 急性期から慢性期までの切れ目のない医療提供体制の構築 (4) リハビリテーション等の取組 (5) 循環器病の後遺症を有する方に対する支援、治療と仕事の両立支援 (6) 循環器病の緩和ケア (7) 社会連携に基づく循環器病対策、循環器病患者支援 (8) 小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策 (9) 循環器病に関する適切な情報提供・相談支援	P8-38

各団体の循環器病対策の取組について

団体名	取組内容	循環器病対策推進計画該当項目	該当施策 (ページ番号)
大分大学医学部 循環器内科・臨床検査診断学講座 (大分県心不全包括ケアカンファレンス) 高橋 尚彦 委員	・病院やクリニックの先生方と協働し、ハートノートの導入と心不全ポイントの普及活動が続けている。 ・多職種(医師、看護師、薬剤師、理学療法士、ケアマネージャーなど)を対象とし、心不全の病態や治療、心不全ポイントの正しい評価法についてのWebセミナーを行った。 ・心不全ポイントを導入した患者のデータベースを作成し、予後(死亡や心不全入院)に及ぼす因子を検討し学会発表を行った。	2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実 (3) 急性期から慢性期までの切れ目のない医療提供の構築 ③循環器病に対する医療の質の向上、均てん化等	P21
県心臓血管外科医会 大分大学医学部 心血管外科 宮本 伸二 委員	医療関係者間コミュニケーションアプリ「Join」を使った病院間の連携の促進	2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実 (2) 救急搬送、救急医療体制の整備 ①迅速かつ適切に搬送可能な体制構築 (3) 急性期から慢性期までの切れ目のない医療提供体制の構築 ①病床機能分化・連携	P16 P18
全国健康保険協会大分県支部 甲斐 一義 委員	○特定保健指導の実施 ・対象者のリスクに着目した個別の保健指導を行うことで(受診勧奨を含む。)生活習慣を改善し、生活習慣病の予防に繋げる。 ○重症化予防事業の実施 ・健診結果の血圧値・血糖値・LDLコレステロール値が「要治療」「要精密検査」と判定されているにもかかわらず医療機関への受診が確認できない者に対し文書及び電話による受診勧奨を実施する。 ・生活習慣病予防健診受診者及び特定健診受診者であって健診当日に検査項目の一部でも「4(要治療)」「5(要精密検査)」と判定された者に対し、検査結果の説明を行った上で医療機関の受診予約を行う。その後、受診確認等の事後フォローを行うことで適切な受診に繋げる。 ・糖尿病性腎症2期及び3期の基準に該当する者で糖尿病性腎症が重症化するリスクの高い未受診者に対し、医療機関への受診勧奨及び受診確認を実施する。	2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実 (1) 健診の普及・予防の取組推進	P13

ICT医療「Join」とは

医療機器プログラムとして認証、日本初の保険適用
専門医間とのコンサルティング・地域医療連携に活用されている

チャット

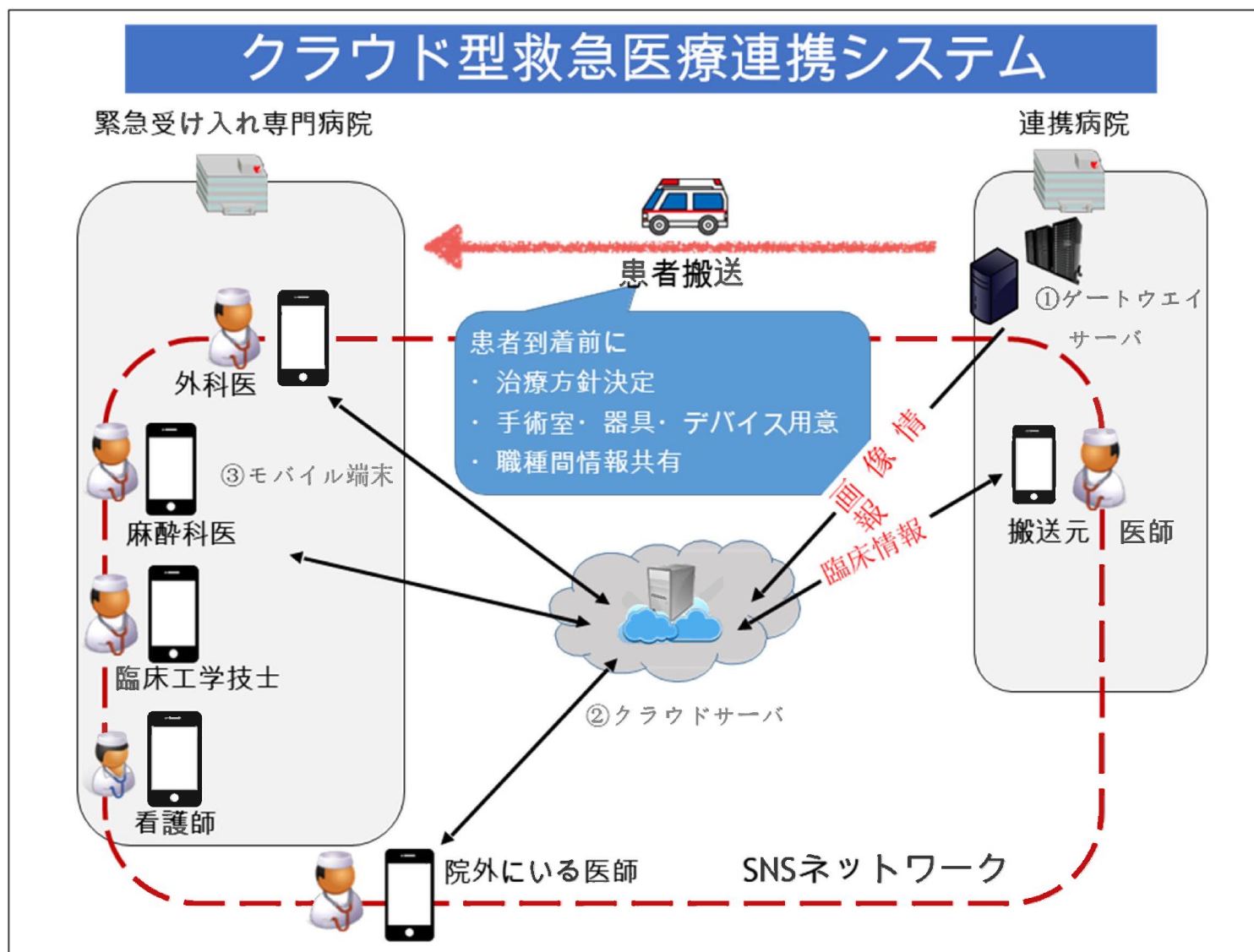
DICOM

処方/検査/心電図※

医療機器認証・承認

日本	認証 (認証番号: 227AOBZX00007000)
米国 (FDA)	認証 (Listing Number: D245938)
欧州 (CE)	登録
ブラジル (ANVISA)	登録

モバイル端末を活用した救急医療支援システム



大分県Join導入施設

2025年2月1日時点

1	大分市	アルメイダ病院	16	津久見市	津久見中央病院
2		オアシス第一病院	17	佐伯市	佐伯中央病院
3		大分医療センター	18		南海医療センター
4		大分岡病院	19	杵築市	杵築中央病院
5		大分三愛メディカルセンター	20		山香病院
6		大分循環器病院	21	日出町	サンライズ酒井病院
7		大分赤十字病院	22	宇佐市	宇佐高田医師会病院
8		大分中村病院	23		佐藤第一病院
9		河野脳神経外科病院	24	中津市	中津市民病院
10		永富脳神経外科病院	25	竹田市	大久保病院
11	別府市	新別府病院	26		竹田医師会病院
12		鶴見病院	27	豊後大野市	豊後大野市民病院
13		別府医療センター	28		みえ病院
14		別府中央病院	29	由布市	大分大学医学部附属病院
15	臼杵市	コスモス病院			

大分県Joinダイレクトチャット（１対１）利用件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計数
2023年	3543	2292	2675	2408	2295	2212	3005	3134	3084	2928	3151	3650	34377
2024年	3384	3598	3860	3441	4039	4594	5478	5788	4774	4905	4895	5491	54247
2025年	6243	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	6243

